

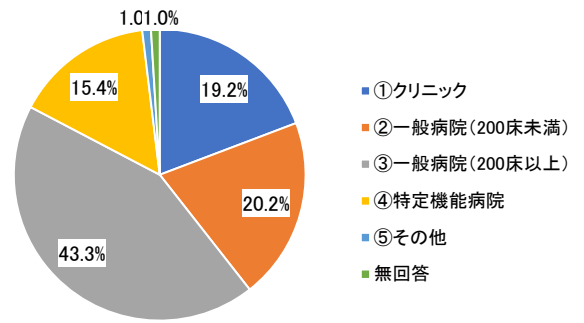
腎臓病療養指導士に関するアンケート調査  
【管理栄養士用】

# 集計報告書

2021年6月16日

施設形態

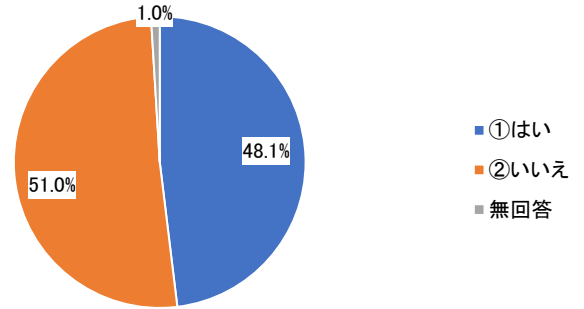
	回答	比率
①クリニック	20	19.2%
②一般病院(200床未満)	21	20.2%
③一般病院(200床以上)	45	43.3%
④特定機能病院	16	15.4%
⑤その他	1	1.0%
無回答	1	1.0%
合計	104	



次のいずれかに○をしてください。

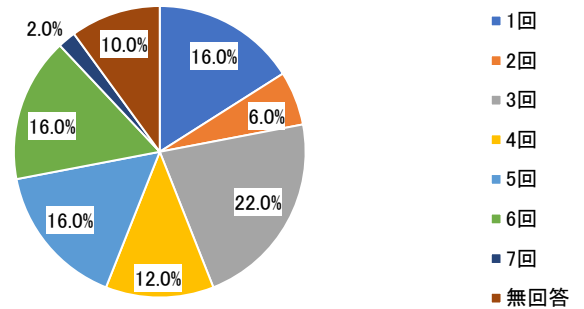
問1. 勤務先でCKD専門外来は行われていますか？

	回答	比率
①はい	50	48.1%
②いいえ	53	51.0%
無回答	1	1.0%
合計	104	



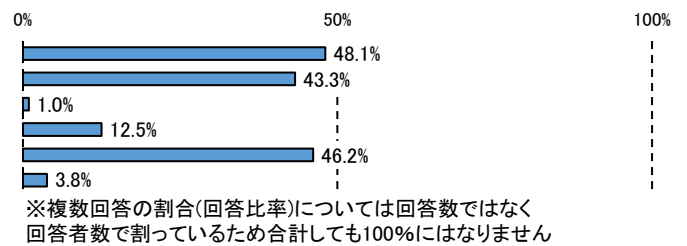
問2. はいと答えた方にお伺いします。週に何回程度行われていますか？

	回答	比率
1回	8	16.0%
2回	3	6.0%
3回	11	22.0%
4回	6	12.0%
5回	8	16.0%
6回	8	16.0%
7回	1	2.0%
無回答	5	10.0%
合計	50	



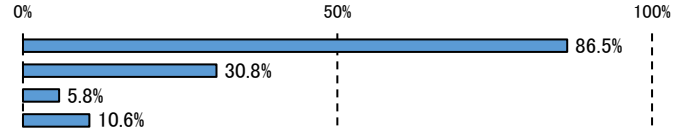
問3. 行っているスタッフの職種をお答えください。

	回答	比率
医師	50	48.1%
看護師	45	43.3%
保健師	1	1.0%
薬剤師	13	12.5%
管理栄養士	48	46.2%
その他	4	3.8%
合計回答者数	104	
合計回答数	161	



問5. 退院後の栄養指導のフォローアップはどのようにされていますか？

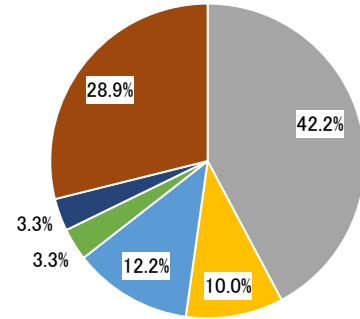
	回答	比率
自院での外来フォロー	90	86.5%
他院・クリニックへの紹介	32	30.8%
定期的健診の勧め	6	5.8%
その他	11	10.6%
合計回答者数	104	
合計回答数	139	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

自院での外来フォロー

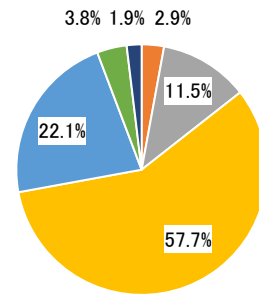
	回答	比率
①週1回	0	0.0%
②2週に1回	0	0.0%
③1か月に1回	38	42.2%
④2か月に1回	9	10.0%
⑤3ヶ月に1回	11	12.2%
⑥6ヶ月に1回	3	3.3%
⑦その他	3	3.3%
無回答	26	28.9%
合計	90	



■①週1回 ■②2週に1回 ■③1か月に1回 ■④2か月に1回  
■⑤3ヶ月に1回 ■⑥6ヶ月に1回 ■⑦その他 ■無回答

問6. CKD療養指導を行っている管理栄養士は、医師の期待に応えられていると思いますか？

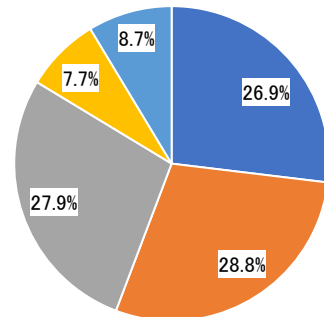
	回答	比率
①まったく応えられていない	0	0.0%
②応えられていない	3	2.9%
③どちらかというに応えられていない	12	11.5%
④どちらかというに応えられている	60	57.7%
⑤応えられている	23	22.1%
⑥十分応えられている	4	3.8%
無回答	2	1.9%
合計	104	



■①まったく応えられていない ■②応えられていない  
■③どちらかというに応えられていない ■④どちらかというに応えられている  
■⑤応えられている ■⑥十分応えられている  
■無回答

問7. 腎臓病(保存期)の栄養指導件数は月に平均何件行っていますか？(2020年度実績)

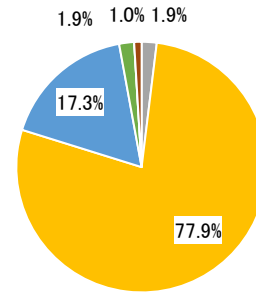
	回答	比率
10件未満	28	26.9%
10件以上～30件未満	30	28.8%
30件以上～100件未満	29	27.9%
100件以上	8	7.7%
無回答	9	8.7%
合計	104	



■10件未満 ■10件以上～30件未満 ■30件以上～100件未満  
■100件以上 ■無回答

問8. 療養指導士を取得して腎臓病の栄養指導件数は変化しましたか？

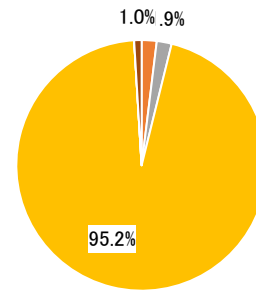
	回答	比率
①とても減少した	0	0.0%
②減少した	0	0.0%
③どちらかというと減少した	2	1.9%
④変化なし	81	77.9%
⑤どちらかという増加した	18	17.3%
⑥増加した	2	1.9%
⑦とても増加した	0	0.0%
無回答	1	1.0%
合計	104	



- ①とても減少した
- ②減少した
- ③どちらかという減少した
- ④変化なし
- ⑤どちらかという増加した
- ⑥増加した
- ⑦とても増加した
- 無回答

問9. 療養指導士を取得して栄養指導キャンセル率に変化はありましたか？

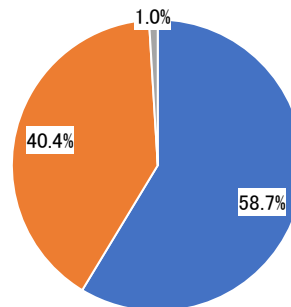
	回答	比率
①とても減少した	0	0.0%
②減少した	2	1.9%
③どちらかという減少した	2	1.9%
④変化なし	99	95.2%
⑤どちらかという増加した	0	0.0%
⑥増加した	0	0.0%
⑦とても増加した	0	0.0%
無回答	1	1.0%
合計	104	



- ①とても減少した
- ②減少した
- ③どちらかという減少した
- ④変化なし
- ⑤どちらかという増加した
- ⑥増加した
- ⑦とても増加した
- 無回答

問10. 診療所から、腎臓病患者に対する外来栄養食事指導料2\*の依頼があった場合、対応は可能ですか？

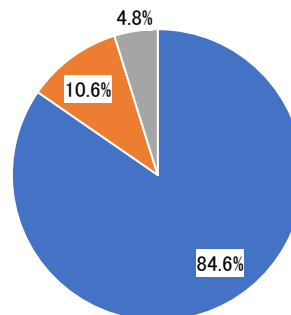
	回答	比率
①はい	61	58.7%
②いいえ	42	40.4%
無回答	1	1.0%
合計	104	



- ①はい
- ②いいえ
- 無回答

問11. 診療所から、あなたの施設に紹介患者として腎臓病栄養指導依頼があった場合、対応は可能ですか？

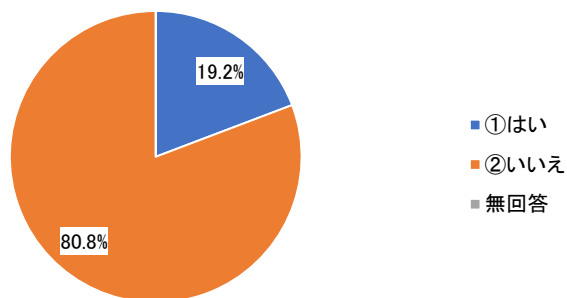
	回答	比率
①はい	88	84.6%
②いいえ	11	10.6%
無回答	5	4.8%
合計	104	



- ①はい
- ②いいえ
- 無回答

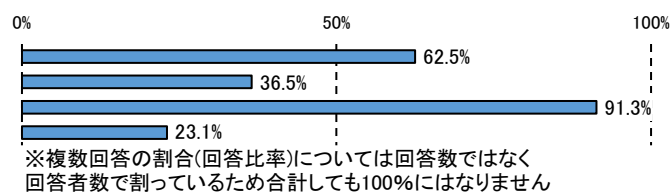
問12. 腎臓病食品交換表は使用していますか？

	回答	比率
①はい	20	19.2%
②いいえ	84	80.8%
無回答	0	0.0%
合計	104	



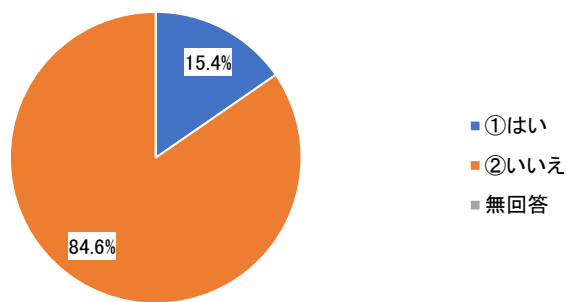
問13. 次のうち、栄養指導時に使用している指導媒体はありますか？

	回答	比率
フードモデル	65	62.5%
自院で提供される食事	38	36.5%
自院で作成した資料	95	91.3%
その他	24	23.1%
合計回答者数	104	
合計回答数	222	



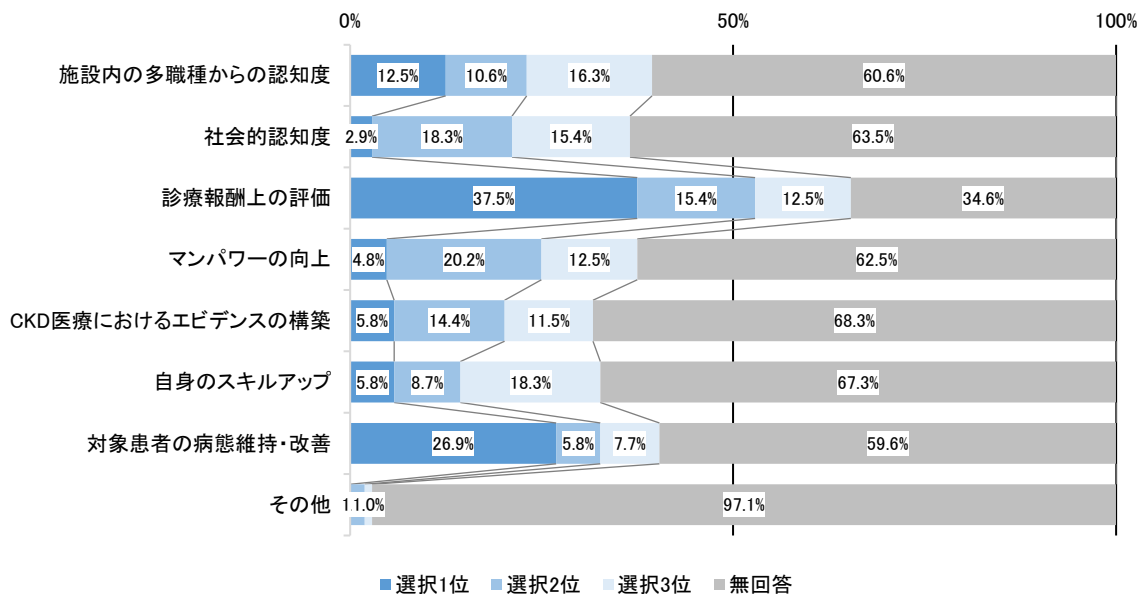
問14. (コロナ感染拡大以前)調理実習を用いた指導は行っていますか？

	回答	比率
①はい	16	15.4%
②いいえ	88	84.6%
無回答	0	0.0%
合計	104	



問15. 療養指導士としてチーム医療を推進していくために、あなたが今後最も重要と考えるのは、次のうちどれですか？

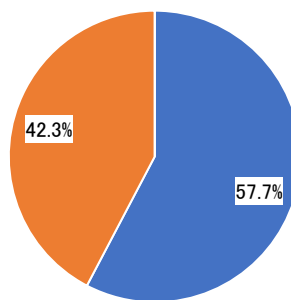
	選択1位	選択2位	選択3位	無回答	合計
施設内の多職種からの認知度	13 (12.5%)	11 (10.6%)	17 (16.3%)	63 (60.6%)	104 (100%)
社会的認知度	3 (2.9%)	19 (18.3%)	16 (15.4%)	66 (63.5%)	104 (100%)
診療報酬上の評価	39 (37.5%)	16 (15.4%)	13 (12.5%)	36 (34.6%)	104 (100%)
マンパワーの向上	5 (4.8%)	21 (20.2%)	13 (12.5%)	65 (62.5%)	104 (100%)
CKD医療におけるエビデンスの構築	6 (5.8%)	15 (14.4%)	12 (11.5%)	71 (68.3%)	104 (100%)
自身のスキルアップ	6 (5.8%)	9 (8.7%)	19 (18.3%)	70 (67.3%)	104 (100%)
対象患者の病態維持・改善	28 (26.9%)	6 (5.8%)	8 (7.7%)	62 (59.6%)	104 (100%)
その他	0 (0%)	2 (1.9%)	1 (1%)	101 (97.1%)	104 (100%)



問16. 療養指導士を取得してメリット、デメリットはありますか？

メリット

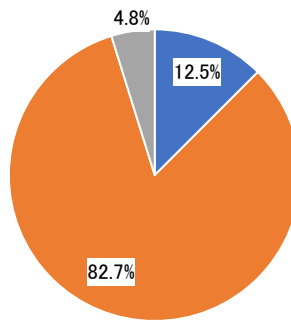
	回答	比率
①ある	60	57.7%
②なし	44	42.3%
無回答	0	0.0%
合計	104	



- ①ある
- ②なし
- 無回答

デメリット

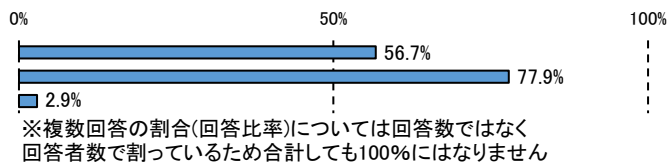
	回答	比率
①ある	13	12.5%
②なし	86	82.7%
無回答	5	4.8%
合計	104	



- ①ある
- ②なし
- 無回答

問17. 療養指導士の資格取得について周知されていますか？

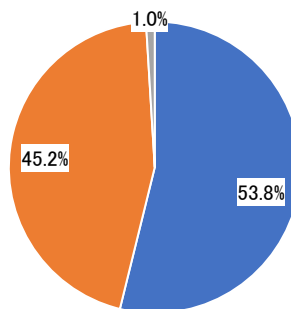
	回答	比率
施設長が把握	59	56.7%
所属長が把握	81	77.9%
職場内には伝えていない	3	2.9%
合計回答者数	104	
合計回答数	143	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

問18. 資格取得後、仕事に対するご自身の変化や行動変容がありましたらご記入ください。

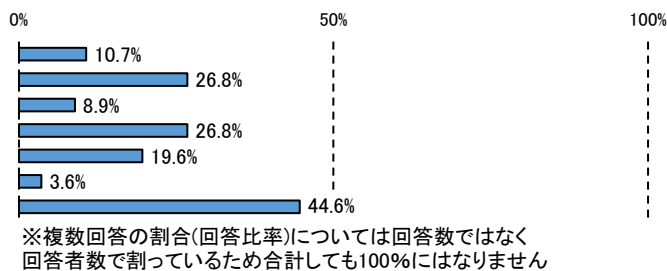
	回答	比率
①仕事上に変化あり	56	53.8%
②変化なし	47	45.2%
無回答	1	1.0%
合計	104	



- ①仕事上に変化あり
- ②変化なし
- 無回答

①仕事上に変化あり

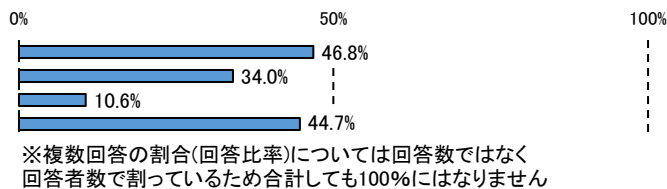
	回答	比率
CKD療養指導チームを設立した	6	10.7%
腎臓病療養教室の開催	15	26.8%
腎臓病回診への参加	5	8.9%
腎臓病カンファレンスへの参加	15	26.8%
学会・研究会で発表した	11	19.6%
執筆活動した	2	3.6%
その他	25	44.6%
合計回答者数	56	
合計回答数	79	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

②変化なし

	回答	比率
資格を活かせる場がない	22	46.8%
院内での認知度が低い	16	34.0%
資格を活かす相談相手がいない	5	10.6%
その他	21	44.7%
合計回答者数	47	
合計回答数	64	



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答者数で割っているため合計しても100%にはなりません

問16. 療養指導士を取得してメリット、デメリットはありますか？

番号	施設名	ご意見
1	熊野前にしむら内科クリニック	メリット 自身のスキルアップ 給与手当
2	小平北ロクリニック 4月～は田無南ロクリニック	メリット 看護や薬学などの分野を学べたこと デメリット 単位取得のための学会参加が大変だったがwebになったので、今後はとても良かった。
3	NHO信州上田医療センター	メリット 医師から信頼、自己研さんにつながる
4	ミッドタウンクリニック名駅	メリット 腎疾患に関する詳しい知識の取得。
5	平成日高クリニック	メリット 自身の向上につながっている。
6	医療法人財団 織本病院	メリット 勉強した内容を栄養指導で実践できる
7	望星 西新宿診療所	メリット CKD保存期の栄養以外の事にも興味を持つことが出来た
8	高石藤井病院	メリット 自身のスキルアップとなる。 デメリット 診療報酬上の評価がない。
9	新潟労災病院	メリット 自己研さん デメリット 内科医師不在の状況
10	新渡戸記念中野総合病院	メリット 自身のスキルアップにつながった。以前より質の高い療養指導を行えるようになったと思う。
11	横浜市立大学附属病院	デメリット ・1人しかもっていないので関連した仕事は全てふられてしまう ・単位更新の学会も年休で参加していて、他の単位と(DM等)あわせてより大変となった。
12	金沢医科大学水見市民病院	メリット 療養指導士取得をすすめて頂いた医師がおられ、食事指導の重要性を理解されているので、細かな指導を頂くことができる。 デメリット 腎臓内科以外からは認知度が低い。他の業務もあるため、療養指導士としての業務に特化することは現状ではむずかしい。
13	藤井病院	メリット 多職種と交流する機会ができた。
14	明石医療センター	メリット 自身のモチベーションUP
15	牧田総合病院	メリット 各種や医師とコミュニケーションがとりやすくなった
16	あけぼのクリニック	メリット 患者に対する貢献度
17	泉が丘内科クリニック	メリット 多職種からの観点をふまえてのアドバイスが可能となった。
18	医療法人康成会 星和台クリニック	メリット 自身のモチベーションが上がる。 デメリット 資格を取得したからといって診療報酬が上がるわけではない為 人によってはあまり評価されない。
19	社会医療法人明陽会 成田記念病院	メリット 薬剤師との交流が増えた
20	医療法人社団よこた内科クリニック	メリット 腎臓についてあらためて学ぶことが出来た
21	(医)仁栄会 島津病院	メリット 自身のスキルアップにより食事療法以外での指導ができるようになった。
22	京都市立病院	メリット:同じ資格を持つ方とのコミュニティができた
23	回生会宝塚病院	自身の指導に対し以前より自信を持って指導できる。また、外来を共にする看護師も取得したので、共通の認識を持ち患者へ指導できる。
24	社会医療法人加納岩加納岩総合病院	メリット:病態に対する知識向上、専門医と相談ができるようになった
25	公立西知多総合病院	メリット:医師からの信頼度が向上した
26	京都桂病院	<メリット>京都で療養指導士の会が立ち上がり、同職種、多職種との交流により、多くのことを学ぶ機会が増えた <デメリット>金銭的支出が増えるが対価がない
27	新光会村上記念病院栄養科	取得したばかりでコロナ禍になり、いまのところ活動できていないのでわかりません。
28	横須賀市民病院	取得前後で仕事の姿勢は変わらない
29	嬉泉病院	メリット:スキルアップできた、指導対象者に専門の指導士として安心感を与えられる
30	富士市立中央病院	メリット:自身が腎臓病を深く理解していることで、患者に重要性を伝えることができる
31	医療法人 仁友会 北彩都病院	メリット:メーカーや院内認知度向上
32	東京都	知識が深まり、多職種に情報提供出来た、更に市民へのCKD認知活動を始めた
33	大石内科クリニック	自分自身がもっと学ぼうと意欲が持てた
34	丹後中央病院	腎臓病患者さんの不安に答えられる知識が身に付いた。自信を持って腎臓病の栄養指導ができるようになった。
35	湘南鎌倉総合病院	メリットは、専門スタッフとして認めて貰えるため
36	博慈会記念総合病院	試験を受けることでCKDの理解力が高まった。
37	西和医療センター	腎臓病療養指導に対しての知識が深まった
38	北海道大野記念病院	今後の転職に活かせるかもしれないから
39	医療法人真鶴会 小倉第一病院	CKD患者への指導の際の自信になった
40	市立福知山市民病院	メリットは薬剤等の知識が得られる デメリットは診療報酬に結びついていない事、資格が無くても療養指導に影響が無い(差がない)と思われている
41	名古屋市立西部医療センター	メリット 知識が集積できる デメリット 異動した場合、資格更新が難しくなる
42	名古屋市立大学病院	客観的にCKDに対する専門性があることを示すことができる
43	東京警察病院	メリット勉強になる、デメリット自費での資格維持
44	医療法人名南会 名南病院	メリット:自信になった デメリット:特になし
45	公立藤田総合病院	メリット 他分野においても知識の習得ができた。もともと多職種とのチームワークは良好
46	東北大学病院	メリット:学ぶ機会が以前よりも増加した。自身のスキルアップへのモチベーションが向上した。
47	東京慈恵会医科大学附属病院	メリットは栄養指導件数の増加
48	広島ベイクリニック	近隣のクリニックから栄養指導の依頼が増えた。
49	社会医療法人社団堀ノ内病院	メリット:自身のスキルアップ デメリット:院内での認知度が低い
50	齊藤内科クリニック	メリットは、自分自身のスキルアップになった。 フリーランスのため、市役所から重症化予防事業に協力して欲しいと依頼があったり、個人的に栄養指導を受けるようになった。
51	虎ノ門病院	メリット:病態や治療、他職種の指導内容の理解が深まった。
52	山形市立病院済生館	メリット 自身の知識向上と院内の認知度向上 デメリット 更新費用
53	東大和南街クリニック	メリットは、知識を得られ、指導に活かされていると思うから。
54	高松赤十字病院	メリット:チームカンファレンスを実施するようになった
55	東京慈恵医科大学附属病院	腎臓内科医からの信頼が得られるようになった
56	翔南病院	メリット:知識習得 デメリット:資格の継続、単位取得
57	桃仁会病院	他院の指導士とも横の繋がりができる



問16. 療養指導士を取得してメリット、デメリットはありますか？

番号	施設名	ご意見
58	日本赤十字社医療センター	メリット:よりCKDについて勉強ができた。腎臓内科のカンファレンスに参加できた。デメリット:認知度が低いのか部署内では加算とれないため、持っている資格として含まれていない。
59	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院	メリット:専門的な知識を備えた上での指導が可能であり、他職種との連携が図れる
60	東戸塚記念病院(2021年3月に横浜旭中央総合病院より異動)	メリット:日々の診療で多職種とどのようなコミュニケーションを取れば効果的か検討がつくようになった。NST活動にも活きた。
61	くすもと内科クリニック	知識向上、自信を持って指導が出来る
62	(株)日立製作所日立総合病院	メリット:研鑽を積む機会になる、同士の交流が広がる
63	JCHO仙台病院	患者さんに、より詳しく、具体的な指導ができる。